



## 2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月14日  
東

上場会社名 株式会社インターネットインフィニティー 上場取引所  
 コード番号 6545 URL https://iif.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 別宮圭一  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 星野健治 (TEL) 03-6897-4777  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	3,917	5.2	338	95.3	347	65.1	205	77.5
2024年3月期第3四半期	3,725	14.1	173	696.9	210	364.6	115	—

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 205百万円(77.5%) 2024年3月期第3四半期 115百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	38.67	37.68
2024年3月期第3四半期	21.82	21.29

(注) 2024年3月期第3四半期の親会社株主に帰属する四半期純利益及び包括利益の対前年同四半期増減率は、1,000%以上となるため「—」と記載しております。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	3,338	1,580	47.3
2024年3月期	3,751	1,388	37.0

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 1,580百万円 2024年3月期 1,388百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2025年3月期	—	0.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,102	2.9	355	54.5	350	29.2	204	56.6	38.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

業績予想の「1株当たり当期純利益」につきましては、当第3四半期連結累計期間における自己株式の取得及び処分による影響を考慮して算定しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期3Q	5,427,771株	2024年3月期	5,427,771株
2025年3月期3Q	95,015株	2024年3月期	123,743株
2025年3月期3Q	5,321,700株	2024年3月期3Q	5,314,434株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料はTDnetで同日開示し、当社ホームページにも掲載いたします。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	9

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、社会経済活動の正常化が着実に進み、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の増加が見られるなど、穏やかな回復基調で推移したものの、長期化するウクライナ情勢をはじめとする地政学リスクの高まり、資源価格や原材料価格の高騰による物価上昇、為替相場的大幅な変動による影響もあり、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループの事業に関わる高齢社会に関連する市場におきましては、ウィズコロナ社会における「新しい生活様式」が高齢者にも浸透しており、外出意欲の高まりや社会経済活動の正常化に伴い、健康への関心がより高まってきております。加えて、中長期的には今後も高齢化率の上昇基調が続くことから、引き続きヘルスケアサービスの需要は高まっていくものと予想されます。

介護業界では人材不足が深刻化しており、人材の確保や業務負担の軽減、職場環境の改善が重要な経営課題として認識されております。介護保険制度の見直しは3年に一度行われており、2024年4月の介護報酬改定では介護保険制度を将来にわたり安定的に持続させるため、介護人材の確保に向けて介護職員等処遇改善加算の加算率が引き上げられるとともに、介護現場の生産性向上に向けてICT等のテクノロジーの活用を推進する生産性向上推進体制加算が新設されるなど、全体では1.59%のプラス改定となりました。

このような環境の中、当社グループは「健康な未来」というコーポレートスローガンのもと、「創意革新と挑戦による超高齢社会における課題解決」をミッションと位置づけ、2023年6月に公表した「事業計画及び成長可能性に関する事項」で示した「IIF Vision2030」や経営目標の達成に向けた取組みを実行し、持続的な成長と中期的な企業価値向上の実現に向けた動きを加速してまいります。

当第3四半期連結累計期間においては、各セグメントにおいて売上高が順調に増加したことに加え、前連結会計年度の下期に行った本社移転に伴う賃料等の固定費削減などの影響も加わった結果、営業利益及び経常利益についても大きく増加しております。

また、当第3四半期連結累計期間において、連結子会社のカンケイ舎が運営する通所介護事業所の移転に伴い受領した受取立退料を特別利益に計上しております。一方、株式会社正光技建に関連するのれんについて将来の事業計画を見直した結果、当初計画していた収益が見込めなくなったと判断したため、のれんの減損損失を特別損失に計上しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は3,917,448千円（前年同四半期比5.2%増）、営業利益は338,046千円（前年同四半期比95.3%増）、経常利益は347,885千円（前年同四半期比65.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は205,815千円（前年同四半期比77.5%増）となりました。

セグメント別の経営成績は、以下のとおりです。

#### (ヘルスケアソリューション事業)

レコードブック事業におきましては、当連結会計年度の期首に同事業の会社分割を実施し、連結子会社の株式会社レコードブックにおいて事業を進めております。

当第3四半期連結累計期間において短時間リハビリ型通所介護サービス(デイサービス)「レコードブック」のフランチャイズが8カ所増加、直営店が1カ所減少しております。また、フランチャイズ加盟店1カ所を譲受け、1カ所を譲渡した結果、直営店が23カ所、フランチャイズが187カ所となりました。

そのほか、名古屋鉄道株式会社との合弁会社である株式会社名鉄ライフサポートが愛知県を中心に展開する「名鉄レコードブック」は、当第3四半期連結会計期間末において22カ所となっております。

これにより、「レコードブック・ブランド」の店舗が合計で232店舗(前年同四半期末は222店舗)となりました。

これらのフランチャイズの店舗数増加に加え、高齢者に運動習慣の重要性への理解が浸透したことにより、レコードブックの既存店舗の稼働率については上昇傾向で推移しており、直営店舗一店舗当たりの売上高や加盟店からのロイヤルティ等の収入は前年同四半期と比べ増加いたしました。

また、当第3四半期連結累計期間におけるフランチャイズの新規出店に伴う加盟金等による収入は前年同四半期と比べやや増加いたしました。一方、当社が設備投資を行い、フランチャイズ加盟店にレンタルをするプランから、当初契約期間5年間の満了に伴いプランを変更した店舗が増加したため、これまで当社が負担していた地

代家賃・減価償却費等の原価と同額の売上高がともに減少いたしました。

この結果、レコードブック事業全体では前年同四半期と比べて売上高はやや増加し、営業利益は大きく増加いたしました。

アクティブライフ事業におきましては、連結子会社の株式会社フルケア及び株式会社カンケイ舎が営む福祉用具貸与事業が堅調に推移いたしました。また、株式会社正光技建において営業手法の見直しや営業先の拡大を進めるとともに、社内の組織体制や、仕入先の見直しによる原価率改善等の各種施策を推進しております。

この結果、前年同四半期と比べて売上高及び営業利益は増加いたしました。

Webソリューション事業におきましては、前連結会計年度から引き続き営業活動の更なる推進やコンテンツの拡充、新サービスの開発を進めております。当第3四半期連結累計期間においても複数案件の新規受注を獲得しておりますが、前年同四半期と比べて売上高はやや増加した一方、営業利益はやや減少しております。

これらの結果、売上高は2,689,360千円(前年同四半期比4.9%増)、営業利益は410,779千円(前年同四半期比35.6%増)となりました。

#### (在宅サービス事業)

在宅サービス事業におきましては、連結子会社のカンケイ舎において介護人材の確保を目的に人事制度改革を推進した結果、有資格者の確保が進み各事業においてサービス提供回数等が増加傾向となっております。また、2024年6月には新たに船橋市に訪問介護事業所を開設しております。

これらの結果、売上高は1,228,088千円(前年同四半期比5.7%増)、営業利益は283,424千円(前年同四半期比4.8%増)となりました。

### (2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は2,272,432千円となり、前連結会計年度末に比べ330,791千円減少いたしました。その主な要因は、現金及び預金が274,957千円減少したことによるものです。

固定資産は1,066,098千円となり、前連結会計年度末に比べ82,173千円減少いたしました。その主な要因は、無形固定資産が103,798千円減少した一方で、投資その他の資産が15,796千円、有形固定資産が5,828千円増加したことによるものです。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における資産合計は3,338,531千円となり、前連結会計年度末に比べ412,964千円減少しました。

#### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は1,503,118千円となり、前連結会計年度末に比べ577,939千円減少いたしました。その主な要因は、預り金が455,261千円減少したことによるものです。

固定負債は254,772千円となり、前連結会計年度末に比べ27,311千円減少いたしました。その主な要因は、長期借入金が25,786千円減少したことによるものです。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における負債合計は1,757,890千円となり、前連結会計年度末に比べ605,251千円減少しました。

#### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は1,580,640千円となり、前連結会計年度末に比べ192,286千円増加いたしました。その主な要因は利益剰余金が179,295千円増加したことに加え、自己株式が13,416千円減少したことによるものです。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2024年5月15日付「2024年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。業績予想値は、現在入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,563,768	1,288,810
受取手形、売掛金及び契約資産	898,515	886,451
貯蔵品	16,200	14,047
その他	129,767	87,002
貸倒引当金	△5,029	△3,880
流動資産合計	2,603,223	2,272,432
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	189,218	198,139
その他(純額)	54,013	50,921
有形固定資産合計	243,232	249,060
無形固定資産		
のれん	336,284	258,963
その他	226,852	200,375
無形固定資産合計	563,137	459,338
投資その他の資産		
差入保証金	145,401	153,659
繰延税金資産	182,803	190,058
その他	13,697	15,266
貸倒引当金	-	△1,285
投資その他の資産合計	341,902	357,699
固定資産合計	1,148,272	1,066,098
資産合計	3,751,495	3,338,531
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	75,174	92,375
短期借入金	650,000	750,000
1年内返済予定の長期借入金	120,727	55,757
未払法人税等	90,854	87,527
預り金	541,782	86,520
賞与引当金	100,049	42,056
役員賞与引当金	3,051	-
その他	499,418	388,881
流動負債合計	2,081,058	1,503,118
固定負債		
長期借入金	168,189	142,403
資産除去債務	67,878	67,352
その他	46,015	45,017
固定負債合計	282,083	254,772
負債合計	2,363,142	1,757,890

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	252,302	252,302
資本剰余金	239,822	239,387
利益剰余金	952,339	1,131,634
自己株式	△56,130	△42,713
株主資本合計	1,388,334	1,580,611
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	19	28
その他の包括利益累計額合計	19	28
純資産合計	1,388,353	1,580,640
負債純資産合計	3,751,495	3,338,531

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	3,725,080	3,917,448
売上原価	2,338,851	2,350,143
売上総利益	1,386,228	1,567,305
販売費及び一般管理費	1,213,106	1,229,258
営業利益	173,122	338,046
営業外収益		
事業譲渡益	44,507	11,983
助成金収入	26	12,460
その他	9,379	2,660
営業外収益合計	53,913	27,105
営業外費用		
支払利息	14,943	16,174
その他	1,393	1,091
営業外費用合計	16,337	17,266
経常利益	210,697	347,885
特別利益		
固定資産売却益	59	—
受取立退料	—	40,000
特別利益合計	59	40,000
特別損失		
減損損失	—	42,770
本社移転費用	17,637	—
特別損失合計	17,637	42,770
税金等調整前四半期純利益	193,120	345,114
法人税等	77,178	139,299
四半期純利益	115,942	205,815
親会社株主に帰属する四半期純利益	115,942	205,815



## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	115,942	205,815
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11	9
その他の包括利益合計	11	9
四半期包括利益	115,953	205,824
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	115,953	205,824

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
税金費用の計算	税金費用については、当第3四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

当社は、2024年6月25日開催の取締役会決議に基づき、譲渡制限付株式報酬として自己株式の処分を行いました。この処分により自己株式は13,434千円(29,885株)減少しました。この結果、単元未満株式の買取りによる増加も含め、当第3四半期連結会計期間末において自己株式は42,713千円(95,015株)となりました。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	ヘルスケアソリューション事業	在宅サービス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,562,689	1,162,390	3,725,080	—	3,725,080
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,562,689	1,162,390	3,725,080	—	3,725,080
セグメント利益	302,892	270,501	573,394	△400,272	173,122

(注) 1. セグメント利益の「調整額」△400,272千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「在宅サービス事業」セグメントにおいて、2022年12月1日に当社の連結子会社である株式会社カンケイ舎によって行われた住宅型有料老人ホーム「フルール・ガーデン市原」及び「フルール・ガーデン相模原」に関する事業の譲受けによる企業結合について、前連結会計年度において暫定的な会計処理を行っていましたが、当第2四半期連結会計期間に確定しております。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、取得原価の当初配分額を見直した結果、暫定的に算定されたのれんの金額162,678千円は、会計処理の確定により49,206千円減少し、113,471千円となっております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	ヘルスケアソリューション事業	在宅サービス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,689,360	1,228,088	3,917,448	—	3,917,448
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,689,360	1,228,088	3,917,448	—	3,917,448
セグメント利益	410,779	283,424	694,203	△356,156	338,046

(注) 1. セグメント利益の「調整額」△356,156千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「ヘルスケアソリューション事業」セグメントにおいて、株式会社正光技建に関連するのれんについて将来の事業計画を見直した結果、当初計画していた収益が見込めなくなったと判断したため、当第3四半期連結累計期間においてのれんの減損損失を特別損失に42,770千円計上しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	99,839千円	79,622千円
のれんの償却額	33,610千円	34,550千円